

「DIYで楽しみながら便利な住まいに」

お話／DIYアドバイザー 杉田 雅博 さん

——DIYと聞くと、日曜大工のイメージがありますが…

日本語では「日曜大工」に近いかもしれませんが、私は「Do It Yourself＝自分でやろう！」、つまり「挑戦すること」だと思います。その意味では料理もそうですし、生活に関わるいろんなことを自分で作ったり、直していくことが「DIY」ともいえるんじゃないでしょうか。



——杉田さんがDIYを始められたきっかけは？

私が小さい頃は、今のようにモノが豊富でない時代でした。例えば野球をするならグラブ、バット、ボールなど、遊び道具は自分たちで作りましたし、小学校高学年の頃には家で鳥小屋作りをしました。しかしうまくいかず、何度も改造する。そうすることで腕が上がってきたのかもしれませんが。近所の人に頼まれて網戸を作ったり、そういう意味では、DIYをするにはいい時代に育ったのかもしれませんがね。

それに比べれば今のDIYは簡単により高度なものが作れるようになりましたね。お店に行けばいろんな部品やパーツが揃っていて、組み合わせればうまくできるようになっています。以前の「不足を補う」というよりは「より生活を豊かにする」という目的に変わってきているように思います。それでも、生活の中で何か困ったときに、どうやって解決しようか、というアイデアが出るかどうかは、変わらず大切なことだと思います。

——住まいづくりとDIYは関わりがありそうですね…

せっかくの住まいですから、できれば長く持ってほしいと思いますよね。少なくとも家に使われている木が生長した年数分は持ってもらいたいと思っています。

家を作るときには、あとから自分でメンテナンスがしやすいようにしておくことが大切です。例えば吹き抜けの天井に照明があったら、掃除や球換えの方法を考えておかないと大変なことになりますよね。最近では、壁を下地まで作ってもらい、壁紙は自分で貼る、という人もいます。

今住んでいる家でも、外回りから内回りまで、色々できることがあります。中でも一番困るのは屋根や外壁かもしれません。自分で直すのは難しいこともありますが、自分で傷み具合がある程度分かれば、業者さんにもお願いしやすいものです。簡単な外壁の塗装なら自分でできますし、雨どいの部品も売っていますので交換できます。そこから大型ポリ容器に水をためるようにしておけば、庭の水

遣りにも使えますしね。

最近は住まいの手入れに関する番組や本も多く出てきていますので、気軽にチャレンジしていただけたと思います。

ただし、DIYではいけないことがあります。ガス、電気、水道の関係では資格が必要な部分があります。また、賃貸住宅・分譲マンションなどはさわってはいけない部分がありますので、あらかじめ確認してください。



———ずばり、DIYの魅力はなんですか？

DIYは時間と手間がかかりますし、必ずしも安くつくわけではありません。業者さんに頼んだ方が安価なときもあります。それでも、自分にあった便利で快適な住まいを自分でつくる楽しみや「達成感」があります。私は山登りをしないのでわかりませんが、色々考えながら作業をして

達成感を得る過程は、ひょっとしたらそれに似ているのかもしれませんが。楽しんで便利になれば、こんないいことはないですよ。

また、家族のコミュニケーションになることもいいですね。何か作ってほめてもらえると「おだて」だとわかっていても嬉しいものですし(笑)、共同作業ができればいい体験になります。ペンキ塗りなんかは子供が楽しんでやってくれます。

それから、DIYのいいところは、いわば素人仕事なので、仕上がりのきれい、きたないは自己満足なんですね。他人が見てどうか、というのもありますが、前よりはよくなればいい、という自己満足ですね。もちろん、手作り感ややさしさ、ユニークさなどのプラスアルファの楽しみもあります。

———そういえば、私の家には工具が何もないことに気づきました…

やはり最低限の工具は用意しておいたほうがいいでしょう。いつも使うわけではありませんが、そろえておけばいざという時に使えます。いわば家庭の「常備薬」のような感じですね。次のようなものからそろえていけばいいんじゃないでしょうか。

《 はじめにそろえるDIY工具 》

金づち(重さが200~250g程度のものが使いやすい)、のこぎり(刃の長さ24cm前後が使いやすい。替刃式がベスト)、定規(差し金(直角)ならなおよし)、ペンチ、巻尺、ドライバー、脚立

ぜひ、改めて住みなれた住まいを見回してみてください。もし不具合や不便があれば、業者まかせにせず、自分ならどう直そうか、と考えてみてはいかがでしょうか。失敗することもあるかもしれませんが、それが経験になってよりいいものができるようになります。それが許されるのもDIYのいいところですので、失敗を恐れず楽しんで挑戦してほしいですね。

(取材・文責：神戸市すまいの安心支援センター 無断転載を禁じます。)